

祝 辞

ご卒業おめでとうございます。

学校法人明浄学院の理事長として、皆さんが、本日、大阪観光大学から学位を授与されたことを心から嬉しく思います。

大阪観光大学で過ごした4年間に、皆さんは、多くのことを学び、人生の師と生涯の友を得たと思います。さらに、これからを力強く生きる力とともに忘れられない思い出を心に刻んだものと信じます。

これから、大阪観光大学を卒業し、日本及び世界に羽ばたき、それぞれの場所で皆さんが活躍する、その姿を楽しみにしています。

学校法人明浄学院は、資金不足を理由とした文の里にある高校敷地の売却問題を契機に、経営権の争いと、それによる混乱が続きました。大阪観光大学に勤める教職員の皆さん、学生の皆さん、そして保護者の皆さんに、ご心配と大変なご迷惑をおかけすることになりました。そのことを、理事長として心からお詫び申し上げます。

他方、この間の教職員の皆さんの努力と学生の皆さんの学ぼうとする力が、大学の運営を支えてくれました。そのことに対し、教職員と学生の皆さんに心から感謝申し上げます。

この混乱を収束するために、司法、すなわち裁判所の力を借りることになりました。昨年、4月から、学校法人明浄学院は大阪地方裁判所の管理のもとにあります。私自身は、明浄学院の再建のために、裁判所から選任された管財人の弁護士です。

私は、経営を立て直すために、明浄学院の支援者を求めました。多くの方から支援の申し出がありましたが、そのなかから、明浄学院高等学校については、学校法人藍野大学に支援をお願いすることとなり、大阪観光大学については、学校法人理知の杜の理事長である麦島氏に支援をお願いすることになりました。

昨年秋から、これら支援者の資金支援のもとに、高校と大学の再建を進めています。同時に、組織の立て直しもはかり、私が、理事会において、理事長にも選任されましたので、今では、理事長兼管財人として、学校法人明浄学院がよりよい教育研究機関として成長し発展していくために、お手伝いをさせていただいています。

大阪観光大学は、支援者のもとで、観光と国際交流をテーマとした日本一の大学を目指し

ます。この間、コロナ禍のために、観光や国際交流を対象とした事業は、厳しい状況に置かれ、皆さんの就職活動についても、幾多の試練があったと思います。しかし、この大阪観光大学を卒業したことに誇りをもって、これからの人生を歩んでほしいと切に願います。

学校法人明浄学院も、苦難の中を再生・再建に向けて、ようやく力強い一歩を歩みだしています。これからの一歩、一歩が大切だと思います。その一歩が、日本一の観光大学に育ててくれると思います。教職員の皆さんの思いと、在校生、そして、卒業する皆さんの一歩が、それを支えてくれるものと思います。

現在の観光業や国際交流も同じ状況にあります。コロナ禍の厳しい経済環境を克服する意思と、そのための一歩一歩の歩みを止めないことが大切であると信じます。その一歩がなければ、先には進めません。しかし、その一歩があれば、確実に目標に近づき、いつかは必ず目標に届き、道は開けてくると思います。

この4年間の大学における皆さんの経験も、それを裏付けていると思います。

私も、ご縁があって、学校法人明浄学院、そして、大阪観光大学の、管財人となり理事長となりました。今後とも、日本一の観光大学として再生し発展するために全力を尽くしたいと思います。そして、皆さんが、大阪観光大学の卒業生であることを、誇りに思えるような大学とすることをここに誓います。

皆さんも、大阪観光大学の卒業生であることに自信と誇りをもって、これからの日本そして世界に羽ばたいていただきたいと切に願って、私からの祝辞といたします。

令和3年4月18日
学校法人明浄学院
管財人・理事長 中井康之